

この世界は今、コロナウイルスというものに支配されています。このウイルスは一般的に人の気道を攻撃し、年齢を問わず感染し、人の命を奪うことさえあります。自分や家族が感染したらどうすればよいのか…と、人々から恐れられています。

私は日本で介護の技能実習生として働き、2年が経ちます。ある日、インターネットのニュースで見ていたあのコロナウイルスが、自分の職場で発生しました。明るい職場が急に変わりました。昨日あんなに元気に見えた利用者さんが急に具合が悪くなりました。このウイルスは急速に広がります。たくさんの利用者さんと職員が感染してしまいました。職員は仕事を休み、多くの利用者さんも具合が悪くなりました。熱が高かったり、咳が出たり、顔が青ざめていました。急に元気にはなりません。その時は職場が毎日忙しくなりました。看護師は利用者さんに多くの検査をしました。普段のような活動はなく、ほとんどの利用者さんは自分の部屋で休んでいました。利用者さんの部屋に酸素の機械がいっぱいありました。私は職場に病院を感じました。

新型コロナウイルスが発生した時は、職場はとても大変でした。しかしその時、利用者さんと職員と私の上司は本当にがんばりました。職員が数人しかいなくても、私たちは仕事の中で本当に協力して、お互いに助け合って、モチベーションを高め合って、気を遣い合いました。職員だけではなく、利用者さんも重い病気でしたが一生懸命がんばりました。利用者さんが笑うと、元気とやる気をひきだしてくれます。ある利用者さんが私に「あなたはいつもいつもがんばるね。ありがとうね。感謝しています。」とおっしゃいました。私はとても感動しました。私はその言葉を聞いて、もっと元気になりました。介護の仕事はすばらしい仕事だと思いました。

私や私の職場にとって、コロナウイルスは確かに大変で、苦しい経験でした。しかし、私は悪い影響ばかりではないと思います。私は今回の仕事の中で、人間の価値観について学ぶことができました。人間の価値観というのは思いやり、協力、助け合い、動機づけだと思います。苦しい時に支え合うということが大切です。もちろん、生命を守ることも大事なことです。技能実習生として働いている今、私はとても貴重な経験ができたと思います。

職場でコロナウイルスが発生してからほぼ1か月後、やっと利用者さんと感染した職員が回復し、みんなと会うことができました。私は本当にうれしかったです。本当によかったと思いました。この気持ちを忘れずに、私はこれからも介護の仕事をがんばっていきたいです。